

科目名		耳鼻咽喉科学			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
言語聴覚療法の理解における基本的な知識となる耳鼻咽喉科学を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
耳鼻咽喉科学全般の基礎的知識ならびに一般によく遭遇する主な疾患につき概説する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
言語聴覚士が対象とする耳・鼻、口腔・咽頭の構造・機能と疾患を理解する。									
回数	講義内容								
1	耳科学 ①外耳（構造）								
2	〃 ②中耳（構造）								
3	〃 ③内耳（構造）								
4	〃 ④中枢伝導路								
5	〃 ⑤聴覚								
6	〃 ⑥疾患								
7	〃 ⑦疾患								
8	〃 ⑧顔面神経（構造、疾患）								
9	〃 ⑨平衡器官（構造）								
10	〃 ⑩平衡器官（疾患、検査）								
11	鼻科学 ①鼻腔・副鼻腔（構造）								
12	〃 ②鼻腔・副鼻腔（疾患）								
13	口腔（構造・疾患）								
14	咽頭（構造・疾患）								
15	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
病気がみえるVol.13 耳鼻咽喉科							メディックメディア		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									